



自動登録の設定

- [自動登録の概要, 1 ページ](#)
- [自動登録の設定タスク フロー, 2 ページ](#)

自動登録の概要

自動登録によって、新しい電話がネットワークにプラグインされたときに、Cisco Unified Communications Manager によりそれらの電話に自動で電話番号を割り当てることができます。

現在、自動登録はセキュアモードで有効になっています。この拡張機能によって、新しい電話のプロビジョニング中にクラスタを保護できるため、システムのセキュリティが強化されます。また、新しい電話を登録する際にクラスタセキュリティを無効にする必要がないため、登録プロセスが簡素化されるメリットもあります。

911（緊急）および0（オペレータ）コールのみを許可するデバイスプールを作成しておく、自動登録が有効になっている場合に許可されていないエンドポイントがネットワークに接続するのを防ぐために使用できます。新しいエンドポイントはこのプールに登録できますが、アクセスは制限されます。連続して起動しネットワークへの登録を試みる不正なデバイスによる不正アクセスは阻止されます。電話番号に影響を与えることなく、自動登録された電話を新しい場所に移動し、別のデバイスプールに割り当てることができます。

システムは、自動登録している新しい電話が SIP または SCCP を実行しているかどうかを認識しません。自動登録を有効にしている場合は、実行している方を指定する必要があります。SIP と SCCP の両方をサポートするデバイス（Cisco Unified IP Phone 7911、7940、7941、7960、7961、7970、7971 など）は、Auto Registration Phone Protocol と呼ばれるエンタープライズパラメータで指定されたプロトコルとともに自動登録されます。

単一のプロトコルのみサポートするデバイスは、そのプロトコルとともに自動登録されます。Auto Registration Phone Protocol 設定は無視されます。たとえば、SCCP のみをサポートする Cisco Unified IP Phone は、Auto Registration Phone Protocol パラメータが SIP に設定されている場合でも SCCP とともに自動登録されます。

自動登録は、ネットワークに追加する電話が 100 台未満の場合に使用することを推奨します。100 台を超える電話を追加するには、一括管理ツール（BAT）を使用します。詳細については、『Cisco

『Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド』 (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>) を参照してください。

自動登録の設定タスク フロー

自動登録を有効にすると、セキュリティ リスクが生まれます。ネットワークに新しいエンドポイントを追加するときに、短時間だけ自動登録を有効にします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	自動登録用パーティションの設定, (3 ページ)	自動登録電話を内線専用に限るには、自動登録専用のルートパーティションを設定します。
ステップ 2	自動登録用コーリングサーチスペースの設定, (4 ページ)	自動登録電話を内線専用に限るには、自動登録専用のコーリングサーチスペースを設定します。
ステップ 3	自動登録のデバイスプールの設定, (5 ページ)	自動登録用に設定したコーリングサーチスペースを使用するデバイスプールを作成します。
ステップ 4	自動登録のデバイスプロトコルタイプの設定, (6 ページ)	自動登録している電話機のタイプを SCCP または SIP プロトコルに合わせて設定するには、次の手順を使用します。
ステップ 5	自動登録を有効にする, (6 ページ)	自動登録で使用する Cisco Unified Communications Manager グループに対して自動登録を有効にするには、自動登録用ノードで自動登録を有効にして、[自動登録 Cisco Unified Communications Manager グループ (Auto-registration Cisco Unified Communications Manager Group)] パラメータを設定します。
ステップ 6	自動登録の無効化, (9 ページ)	新しいデバイスの登録が完了したらすぐに、ノードで自動登録を無効にします。
ステップ 7	再利用の自動登録の数, (9 ページ)	これはオプションです。無効になった、デバイスの自動登録番号は再利用できます。自動登録用の電話番号の範囲をリセットするとき、最初の番号から再度検索をシステムで実行します。使用可能な電話番号は再利用されます。

自動登録用パーティションの設定

自動登録電話を内線専用に制限するには、自動登録専用のルートパーティションを設定します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [パーティション (Partition)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックして新しいパーティションを作成します。
- ステップ 3** [パーティション名、説明 (Partition Name, Description)] フィールドに、ルートプランに固有のパーティション名を入力します。
パーティション名には、英数字とスペースの他にハイフン (-) とアンダースコア (_) を使用できます。パーティション名に関するガイドラインについては、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 4** パーティション名の後にカンマ (,) を入力し、パーティションの説明を同じ行に入力します。
説明には、任意の言語で最大 50 文字を使用できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>)、角括弧 ([]) は使用できません。
説明を入力しなかった場合は、Cisco Unified Communications Manager が、このフィールドに自動的にパーティション名を入力します。
- ステップ 5** 複数のパーティションを作成するには、各パーティションエントリごとに 1 行を使います。
- ステップ 6** [スケジュール (Time Schedule)] ドロップダウンリストから、このパーティションに関連付けるスケジュールを選択します。
スケジュールでは、パーティションが着信コールの受信に利用可能となる時間を指定します。[なし (None)] を選択した場合は、パーティションが常にアクティブになります。
- ステップ 7** 次のオプション ボタンのいずれかを選択して、[タイムゾーン (Time Zone)] を設定します。
- [発信側デバイス (Originating Device)] : このオプション ボタンを選択すると、発信側デバイスのタイムゾーンと [スケジュール (Time Schedule)] が比較され、パーティションが着信コールの受信に使用できるかどうか判断されます。
 - [特定のタイムゾーン (Specific Time Zone)] : このオプション ボタンを選択した後、ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。選択されたタイムゾーンと [スケジュール (Time Schedule)] が比較され、着信コールの受信にパーティションが使用できるかどうか判断されます。
- ステップ 8** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[自動登録用コーリングサーチスペースの設定, \(4 ページ\)](#)

自動登録用コーリングサーチスペースの設定

自動登録電話機を内線通話のみに制限するには、コーリングサーチスペースを自動登録専用に設定します。

はじめる前に

[自動登録用パーティションの設定, \(3 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [名前 (Name)] フィールドに、名前を入力します。
各コーリングサーチスペース名がシステムに固有の名前であることを確認します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、およびアンダースコア (_) を任意に組み合わせて含めることが可能です。
- ステップ 4** [説明 (Description)] フィールドに、説明を入力します
説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>) は使用できません。
- ステップ 5** [使用可能なパーティション (Available Partitions)] ドロップダウンリストから、次の手順のいずれかを実施します。
- パーティションが 1 つの場合は、そのパーティションを選択します。
 - パーティションが複数ある場合は、コントロール (Ctrl) キーを押したまま、適切なパーティションを選択します。
- ステップ 6** ボックス間にある下矢印を選択し、[選択されたパーティション (Selected Partitions)] フィールドにパーティションを移動させます。
- ステップ 7** (任意) [選択されたパーティション (Selected Partitions)] ボックスの右側にある矢印キーを使用して、選択したパーティションの優先順位を変更します。
- ステップ 8** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[自動登録のデバイスプールの設定, \(5 ページ\)](#)

関連トピック

[サービスクラス](#)

自動登録のデバイス プールの設定

SCCP および SIP デバイスで自動登録を使用できるように、自動登録用デフォルト デバイス プールを使用するか、または別のデバイス プールを設定できます。

自動登録用デフォルト デバイス プールを設定するには、デフォルトの Cisco Unified Communications Manager グループと自動登録のコーリング検索スペース (CSS) をデフォルト デバイス プールを割り当てます。SCCP および SIP デバイス用の個別のデフォルト デバイス プールを設定する場合は、デバイス プールのデフォルト値を使用します。

はじめる前に

[自動登録用コーリング検索スペースの設定, \(4 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[システム (System)] > [デバイス プール (Device Pool)] を選択します。
- ステップ 2** 自動登録用デフォルト デバイス プールを変更するには、次の操作を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックし、デバイス プールのリストから [デフォルト (Default)] を選択します。
 - [デバイス プールの設定 (Device Pool Configuration)] ウィンドウで、[自動登録用コーリング検索スペース (Calling Search Space for Auto-registration)] フィールドで、自動登録に使用する CSS を選択し、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 3** 自動登録用の新しいデバイス プールを作成するには、次の操作を実行します。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - [デバイス プールの設定 (Device Pool Configuration)] ウィンドウで、デバイス プールの一意の名前を入力します。
英数字、ピリオド (.)、ハイフン (-)、アンダースコア (_)、スペースを含む、最大 50 文字を入力できます。
 - デフォルトのデバイス プールに一致するように、次のフィールドを設定します。フィールドの説明については、オンライン ヘルプを参照してください。
 - [Cisco Unified Communications Manager グループ (Cisco Unified Communications Manager Group)] で、[デフォルト (Default)] を選択します。
 - [日時グループ (Date/Time Group)] で、[CMLocal (CMLocal)] を選択します。
 - [リージョン (Region)] で、[デフォルト (Default)] を選択します。
 - [自動登録用コーリング検索スペース (Calling Search Space for Auto-registration)] フィールドで自動登録に使用する CSS を選択し、[保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[自動登録のデバイス プロトコル タイプの設定, \(6 ページ\)](#)

自動登録のデバイス プロトコル タイプの設定

SIP および SCCP デバイスを自動登録するには、まず、自動登録電話プロトコルパラメータを SCCP に設定し、SCCP を実行しているすべてのデバイスをインストールする必要があります。その後、自動登録電話プロトコルパラメータを SIP に変更して、SIP を実行しているすべてのデバイスを自動登録します。

はじめる前に

[自動登録のデバイス プールの設定, \(5 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理で、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択します。
- ステップ 2** [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウで、[自動登録電話プロトコル (Auto Registration Phone Protocol)] ドロップダウンリストから [SCCP (SCCP)] または [SIP (SIP)] のいずれかを選択し、[保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[自動登録を有効にする, \(6 ページ\)](#)

自動登録を有効にする

自動登録が有効の場合は、ネットワークに接続する際に新しいエンドポイントに割り当てられる電話番号の範囲を指定する必要があります。新しいエンドポイントが接続される度に、次の使用可能な電話番号が割り当てられます。自動登録に使用できる電話番号がなくなった場合、エンドポイントを自動登録することはできません。

新しいエンドポイントは、[自動登録 Cisco Unified CM グループ (Auto-Registration Cisco Unified Communications Manager Group)] 設定が有効になっているグループの最初の [Cisco Unified Communications Manager] ノードを使用して自動登録されます。その後、デバイスタイプに基づき、自動登録された各エンドポイントがデフォルトのデバイスプールに自動で割り当てられます。

はじめる前に

[自動登録のデバイス プロトコル タイプの設定, \(6 ページ\)](#)

- デバイス プール、コーリング サーチ スペース、および内線発信のみ許可するように自動登録するデバイスのアクセスを制限するルートパーティションを作成します。
- 電話番号が自動登録範囲で利用できることを確認します。
- 新しい電話を登録するために利用できるライセンス ポイントが十分にあることを確認します。
- [デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウに、SIP および SCCP の電話イメージ名が正しく表示されていることを確認します。共通デバイス設定ファイルのほとんどは TFTP サーバ上で利用できますが、デバイスの設定ファイルが存在することを確認します。
- Cisco Proxy の TFTP サーバが起動して実行中であることと、TFTP の DHCP オプションで適切なサーバが指定されていることを確認します。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified Communications Manager Administration] で、[システム (System)] > [Cisco Unified CM] を選択し、[Find and List Cisco Unified Communications Managers] ウィンドウの [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 2** 自動登録を使用するには、クラスタの [Cisco Unified Communications Manager] を選択します。が表示されます。
- ステップ 3** [Cisco Unified CM Configuration (Cisco Unified CM Configuration)] ウィンドウで、[自動登録情報 (Auto-registration Information)] セクションのノードの自動登録パラメータを設定し、[保存 (Save)] をクリックします。フィールドの説明については、オンライン ヘルプを参照してください。
- a) ユニバーサル デバイス テンプレートを選択して、ドロップダウン リストから自動登録を使用します。
自動登録用に作成されているユニバーサル デバイス テンプレートがない場合は、[デフォルトのユニバーサル デバイス テンプレート (Default Universal Device Template)] を選択します。選択したテンプレートで、デバイスプールが指定されていることを確認します。これは、[ユーザの管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユニバーサル デバイス テンプレート (Universal Device Template)] の自動登録で使用されます。
 - b) ドロップダウン リストからの自動登録に使用するユニバーサル ライン テンプレートを選択します。
自動登録用に作成されているユニバーサル ライン テンプレートがない場合は、[デフォルトのユニバーサル ライン テンプレート (Default Universal Line Template)] を選択します。選択したテンプレートで、コーリング サーチ スペースおよびルートパーティションが指定されていることを確認します。これは、[ユーザの管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユニバーサル ライン テンプレート (Universal Line Template)] の自動登録で使用されます。
 - c) 電話番号の最初と最後を [開始電話番号 (Starting Directory Number)] および [終了電話番号 (Ending Directory Number)] フィールドに入力します。
電話番号の最初と最後を同じ値に設定すると、自動登録は無効になります。

- d) [このCisco Unified CM では自動登録は無効にする (Auto-registration Disabled on this Cisco Unified Communications Manager)]のチェックボックスをオフにして、このノードの自動登録を有効にします。

選択した Cisco Unified Communications Manager ノードでのみ自動登録を常に有効または無効にします。自動登録機能をクラスタ内の他のノードに切り替える場合は、Cisco Unified Communications Manager ノード、デフォルトの Cisco Unified Communications Manager グループ、デフォルトのデバイス プールを再設定する必要があります。

- ステップ 4** [システム (System)]>[Cisco Unified CM Group]を選択し、[Cisco Unified CMグループの検索と一覧表示 (Find and List Cisco Unified Communications Manager Groups)]ウィンドウの[検索 (Find)]をクリックします。
- ステップ 5** Cisco Unified Communications Manager グループを選択して、自動登録を有効にします。このグループ名は、ほとんどの場合 [デフォルト (Default)]になります。別の Cisco Unified Communications Manager グループを選択することもできます。このグループでは、最低1つのノードを選択する必要があります。
- ステップ 6** このグループの [Cisco Unified CM Group Configuration] ウィンドウにおいて、[自動登録 (Auto-registration)] [Cisco Unified Communications Manager][グループ (Group)]を選択して、グループの自動登録を有効にし、[保存 (Save)]をクリックします。
ヒント [選択済 Cisco Unified CM (Selected Cisco Unified Communications Managers)]のリストに、自動登録用に設定したノードが含まれていることを確認します。矢印を使用して、リストに表示するノードを移動します。表示されている順で、Cisco Unified Communications Manager ノードが選択されます。変更を [保存 (Save)]します。
- ステップ 7** 自動登録するデバイスをインストールします。



(注) 自動登録された電話を再設定し、その電話を永続的なデバイス プールに割り当てます。電話のロケーションを変更しても、電話に割り当てられている電話番号は変更されません。



(注) 別の種類の電話を登録するには、デバイスのプロトコルタイプを変更し、そのデバイスを取り付けてから自動登録を無効にします。

次の作業

新しい電話の登録が完了したら、[自動登録の無効化](#)、(9 ページ)。

関連トピック

[自動登録のデバイス プロトコルタイプの設定](#)、(6 ページ)

[自動登録の無効化](#)、(9 ページ)

[ユニバーサルデバイス テンプレートの設定](#)

[ユニバーサル回線テンプレートの設定](#)

[TFTP サーバの設定タスク フロー](#)

自動登録の無効化

新しいデバイスの登録が完了したらすぐに、ノードの自動登録を無効にします。

はじめる前に

[自動登録を有効にする](#), (6 ページ)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[システム (System)]>[Cisco Unified CM]を選択し、[Cisco Unified CM グループの検索と一覧表示 (Find and List Cisco Unified Communications Manager Groups)] ウィンドウの [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 2** ノードのリストから、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] を選択します。
- ステップ 3** 選択したノードの [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] ウィンドウで、[このCisco Unified CM では自動登録は無効にする (Auto-registration Disabled on this Cisco Unified Communications Manager)] チェックボックスをオンにし、このノードの自動登録を無効にします。その後、[保存 (Save)] をクリックします。
- ヒント [開始電話番号(Starting Directory Number)] フィールドと [終了電話番号(Ending Directory Number)] フィールドに同一値を設定して、自動登録を無効にすることもできます。
-

次の作業

これはオプションです。自動登録済みデバイスの電話番号を手動変更したか、そのデバイスをデータベースから削除した場合は、該当する電話番号を再利用できます。詳細は、[再利用の自動登録の数](#), (9 ページ) を参照してください。

再利用の自動登録の数

ネットワークに新しいデバイスを接続すると、システムはそのデバイスに利用可能な次の自動登録ディレクトリ番号を割り当てます。手動で自動登録済みデバイスのディレクトリ番号を変更するか、データベースからそのデバイスを削除すると、そのデバイスの自動登録ディレクトリ番号は再利用できます。

デバイスが自動登録を試みると、システムは指定した自動登録番号の範囲を検索し、そのデバイスに割り当てるための、次に使用可能なディレクトリ番号を検索します。割り当てられた最後の番号の後、次のディレクトリ番号から順に検索を開始します。範囲内の最後のディレクトリ番号に達すると、システムは範囲の開始ディレクトリ番号から検索し続けます。

自動登録のディレクトリ番号の範囲をリセットし、システムがその範囲の開始番号から検索するようにすることができます。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[システム (System)] > [シスコ統合コミュニケーションマネージャ (Cisco Unified Communications Manager)] を選択します。
- ステップ 2** 自動登録をリセットするには、[シスコ統合コミュニケーションマネージャ (Cisco Unified Communications Manager)] を選択します。
- ステップ 3** 現在の設定を [開始のディレクトリ番号 (Starting Directory Number)] と [最後のディレクトリ番号 (Ending Directory Number)] フィールドに書き留めます。
- ステップ 4** [この Cisco Unified Communications Manager で自動登録を無効化 (Auto-registration Disabled on this Cisco Unified Communications Manager)] をクリックしてから、[保存 (Save)] をクリックします。自動登録が無効の間、新しい電話は自動登録できません。
- ステップ 5** [開始ディレクトリ番号 (Starting Directory Number)] と [最後のディレクトリ番号 (Ending Directory Number)] フィールドを以前の値に設定してから、[保存 (Save)] をクリックします。
- ヒント フィールドに新しい値を設定できません。
-